

# かべ新聞

第88号

2015年  
3月27日

JR東海労働組合  
新幹線地方本部  
東京車両所分会

4月1日から構内操縦の

『昼入6担当を技術の社員が

兼務する運用』には反対！

労働強化となり、安全面・健康面からも問題有り！

突如、3月25日から修繕車両所の管理者は、操縦担当者に対して「4月1日から構内操縦の『昼入6』は技術が兼務する。」との説明が開始された。また、「点呼は操縦班で受ける。技術と兼務する昼入6は、最低でも1本は入換えを行う。要員は技術が1名増えて昼入6を担当する。」との説明です。

冗談ではない！ 私たちからすれば、今回の会社説明は「昼入6は基本的に通常の入換えを行わない！」ということで「今まで昼入6が担当していた入換えを他の担当者に割り振る事になり、実質的に構内操縦1名減＝労働強化を意味する！」他にも「今回の説明内容は要員の変更にも関わる事案であり、現場の極めて短時間での簡単な説明だけで済ませるのは問題である！」

「構内操縦と技術の業務を兼務させることは操縦業務に専念できないし、安全面と健康面からも問題である！」など多くの問題が有ります！

私たちは、『昼入6担当業務の兼務の撤回！』  
を求め幹鉄事に申入れを行います！